

第 46 期 3rdQ 全社部会スピーチ

2018 年 10 月

『エピソードよりエビデンス』

先日立命館アジア太平洋大学学長出口治明^{でぐち ちやうめい}氏の講演会を聴講しました。同氏は 58 歳の時にライフネット生命保険会社立ち上げ、成功させた凄い人です。その出口氏が講演の中で言っていました。エピソードよりエビデンスで判断しなさいと。ストーリーよりファクトと言い換えることもできますね。つまり他人の思い込みや勘違いが入り込んだ批評を鵜呑みにするよりも数字、ファクト、ロジックで考えるということです。例えば自分の給料が安いと思ったときに、エピソードで判断する人とは、こんなに頑張っているのに、あの人はもっと貰っているみたいだ、あるいは、あの人も安すぎると文句を言っていた、という風でしょうか。これをエビデンスで判断すれば「こんなに頑張っているのに」は、その努力は効率的なのか、周りの従業員と比べて相対的に良く頑張っていると立証できる確かな数字や成果物が存在するかが重要です。ファクトを知るには客観的且つ統計的なエビデンスが必要です。「あの人はもっと貰っているみたい」は、たとえ年齢が同じでもアウトプットが同じとは限りません。また会社の中でその人の持つスキルの希少性が高いほど高い値段がつきます。同じ位の実力だと思っているのはあなただけかもしれません。「あの人も安すぎると文句を言っていた」は、文句を言う人の声は大きいというのが一般的です。もっと言ってしまうと、比較的厚遇されている人は、それを誰にも言わないのが普通です。昇給額が多かった人が「沢山上げてもらった」と言えば自慢になり、やっかみの対象となるためポジティブな情報は流れないのが普通です。そうしてネガティブな意見だけが認知されるようになるとネガティブ派の人が幅を利かせるようになります。こういう時もやはり、会社の真の全体像を掴む必要がありますが、給与情報や個人のアウトプットを数値化したデータを正確に把握することは一般従業員には難しいのが現実です。しかしながらもっとマクロのデータは非常に簡単に入手できます。例えば日本企業の給与額データは、厚生労働省が毎年発表している「賃金構造基本統計調査」を見ればわかります。

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/chingin/kouzou/z2017/index.html>

これによると平成 29 年の平均月額賃金は、313,000 円（平均年齢 35~39 歳、平均勤続年数 12.8 年）と発表されており、自分の税込み給与額と比較することはできます。手取り額ではないので注意して下さい。注 1

因みに、フロウエルの同年平均月額賃金は、321,300円（平均年齢38.5歳、平均勤続年数10.9年）で、全国平均同等の給与をより若く、勤務歴の浅い従業員が得ています。

「国税庁民間給与実態統計調査」では年収を知ることができます。

<https://www.nta.go.jp/information/release/kokuzeicho/2018/minkan/index.htm>

これによると平成29年の平均年収は、4,937,000円（平均年齢46.0歳、平均勤続年数12.1年）一方フロウエルの同年平均年収は、5,178,600円（平均年齢38.5歳、平均勤続年数10.9年）月額データも年収データも高く、フロウエルの待遇が国内平均を上回ることがわかります。さらに国税庁年収データは、源泉徴収ベースなので、残業や休出代が含まれているはずですがフロウエルのデータにはそれが含まれていません。それでも年長者よりも高い給料をもらっています。無論フロウエルのデータには、役員と嘱託社員のデータは含まれていません。ネット情報はステルスマーケティングやウソや誇張が山のようにあって、ゴシップ紙よりも信用できませんが、一方で官庁が発表する信頼できるデータを無料で即アクセス可能という圧倒的な利便性があります。

本当かどうかわからない情報に触れたときに、すぐ鵜呑みにする人はもう放っておくとして、本当かどうかわからないと気づくことが出来る人にアドバイスします。エビデンスをとる努力をしましょう。社内にも色々な公的データがあります。公的でないデータは、ネット情報同様に信頼性が薄いため、かならず社内の統計データにアクセスしましょう。先ほど言ったように国の公的なデータや信頼のおける企業やシンクタンクが発表しているデータも比較判断の材料になります。何かを確認したい場合、そういった信頼性のあるデータへのアクセススキルを持つ努力をしておく、仕事にも役立てることができます。そのスキルを持つ人と持たない人では、ビジネス上の会話内容が変わってきますから、持つ人からすると会話している相手はその類のスキルを持っているのかいないのかすぐに分ってしまいます。特に営業などで、顧客企業の偉い人に食い込んでいくには、社会人知力と並んでデータアクセススキルは大きくものを言うと思って間違いありません。だからホントかなと思ったらすぐにどんなデータを引っ張れば事実を裏打ちできるか考えて、そのデータがありそうな機関をネット検索してみる習慣をつけて下さい。スマホをチャットやゲーム、動画鑑賞にしか使っていないあなた、手の中に膨大な情報があることに気づくでしょう。ポテンシャルの高い道具を使いこなした時こそあなたの給料は高くなるはずですよ。

宜しくお願いします。

注1 厚生労働省は2019年8月9日、同年1月に発覚した賃金構造基本統計の不正を巡り、退職者を含む計14人の職員に対する処分内容を発表した。当スピーチは不正発覚前に行われたため、不正データを元に実際よりも低い値の全国平均値でフロウエルと比較対象をおこなっていた。ここに掲載した文章は全て当時スピーチした通り、直さず

に数字もそのままとなっています。